



# 阪本だより

令和4年 12月 第339号  
中央区立阪本小学校  
中央区日本橋兜町15-18  
TEL.03(3666)0044 FAX.03(3668)2366

## ものづくりのすすめ

副校長 森島 健次

先日、休み時間の終わりに、ある教室をのぞくと、やらなければいけない課題を教室で仕上げたくて図工室に行くのを渋っていた児童がいました。図工室に行くように促すと、「図工なんて何の役にも立たないよ!」と言われてしまいました。(本心ではないと思っています。)小さい頃から作ることが大好きだった私は、「作ることは楽しいよ。」「ものづくりは人生を豊かにするよ!」と伝えたくなり、今回思わずこんな文章を書いてしまいました。

最近、1年生が、大切に育てたアサガオを使ってリース作りをしていました。もう種子も採り終わり、枯れてしまった茎やつるを捨てるのではなく、リボンやドングリで飾り付け、かわいらしいリースに変身させていました。いらなくなったものや役に立たなくなったと思うものを、ちょっとしたひらめきや工夫で、別の新しいものに作り変えることは素晴らしいことだと思います。

作っているときのわくわく感も楽しいですが、思い通りのものが完成したときの喜びは格別です。また、計画とは違って偶然すごい物ができてしまうこともあります。うまいかないと思っても、少し時間をおくと新たなひらめきがあったり、誰かのちょっとしたアドバイスで最高傑作ができあがったりすることもあります。大事なことは時間がかかっても投げ出さず完成させることだと思います。

自分が作って楽しむことはもちろん素晴らしいことですが、誰かのた

めに作って、その誰かに喜んでもらえる、より大きな喜びになります。相手のことを思いながら作るとより素晴らしいものができあがる気がします。また、心を込めてつくったプレゼントをもらうと、出来栄えに関係なく、本当に嬉しいものです。こんなとき、ものづくりが心を豊かにすると実感することができます。

教員という職業に就いてからは、休日に自分の子どもを連れて公園に行っても、「この木の実で○△ができるからたくさん拾おう。」と思い、子どもの遊びそっちのけで拾ってしまったり、デザート食べていても「この容器を使ったら□☆ができるのでは?」と食べることも考えることに夢中になってしまったりしました。授業で使えるものはないか、クラスのみんが作って楽しめる材料はないかを探るのが癖になってしまいました。

子どもたちは、作ることが大好きになると、自分たちで工夫して、大人も驚くようなものを作り上げたり、技術や発想を学習や生活の中で生かしたりできるようになってきます。私は今までの長い教員生活の中で「ものづくりが子どもたちの成長に役立つ」という場面をたくさん見ることができました。

今の世の中は便利な機器があふれ、わざわざ書いたり切ったり貼ったりしなくても済むことが多くなりました。子どもたちには、それらの機器を使いこなせるようにすると同時に、「ものづくりを楽しむ」ことを忘れないでほしいと思います。

日	曜	12月行事予定
1	木	安全指導 個人面談⑦
2	金	全学年5時間授業
3	土	B時程 全学年4時間授業 土曜公開授業「伝統文化理解教室」 <b>(登下校時スクールバスなし)</b>
4	日	
5	月	あおぞら班 委員会 羽根つき朝練開始
6	火	校外学習(4年)
7	水	B時程 全学年4時間授業 <b>(下校時スクールバスなし)</b>
8	木	避難訓練
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	全学年5時間授業 講話「よい歯」 保健委員会発表 農園体験(2年)
13	火	日本公衆電話 災害ダイヤル(3・4年) アウトリーチコンサート(4・5年)
14	水	B時程 薬物乱用防止教室(6年)
15	木	国際理解教室(5・6年) 会計金融出張授業(4・5年)
16	金	スマイル終
17	土	
18	日	
19	月	食育「メグミルク」(3年) クラブ
20	火	PTA 演劇教室
21	水	B時程 全学年5時間授業
22	木	給食終 宇佐美学園終業式
23	金	B時程 全学年4時間授業 終業式 宇佐美出身校学習 <b>(下校時スクールバスなし)</b>
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業日始
27	火	
28	水	学校閉庁日
29	木	学校施錠日
30	金	学校施錠日
31	土	学校施錠日